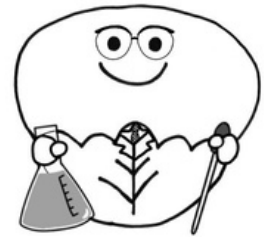


小松小学校 理科新聞



二十四節気

七十二候

小満（しょうまん）

紅花栄（べにばなさかう）

2025.5.28

5年生・発芽実験
(インゲンマメ)

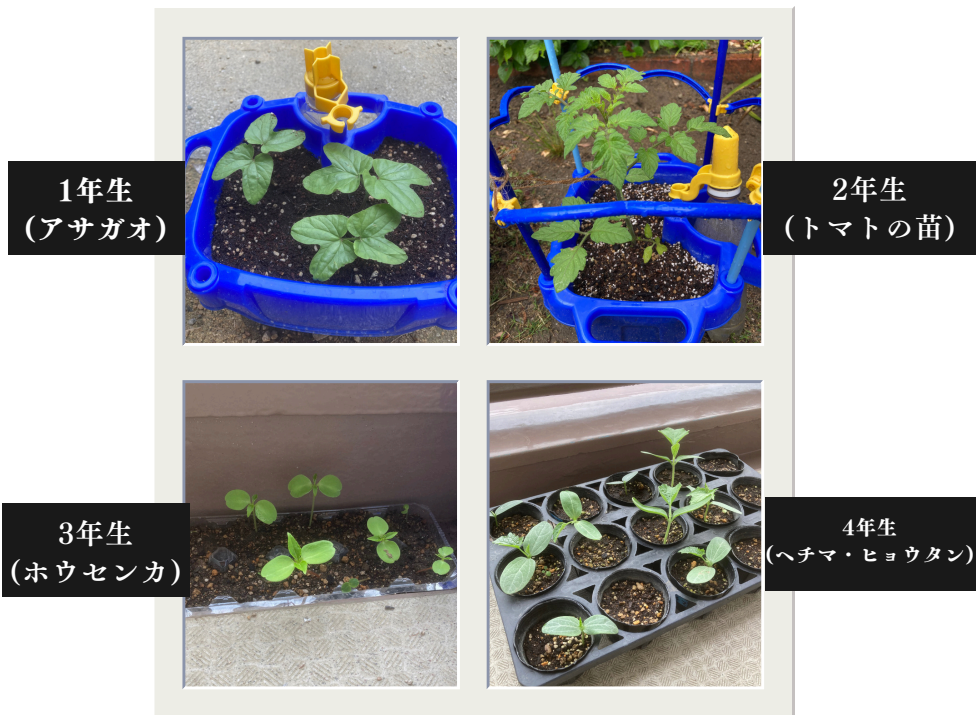
色んなところで芽が出てる

小松小 各地で 植物発芽中



5年生は『植物の発芽と成長』の学習で、植物の発芽に必要な条件を調べています。水・空気・温度・日光・土・栄養などの予想が出て、それぞれ自分達で実験方法を考えて実験中です。色々な方法を考え、それぞれの工夫もあり、楽しいですね！ふだんは理科室や、理科室の前ばかり見ているのでなかなか気づきませんでした。校内の色んな場所で、それぞれの学年が植物を育てていて、廊下や花壇で、たくさんの芽が出ています。

1年生はアサガオ、2年生はミニトマト(苗)、3年生はヒマワリ・ホウセンカ・マリーゴールド、4年生はヒョウタン・ヘチマ。園芸クラブでまいた花の種も芽を出しました。それぞれ「かわいいな」と思って見て回りました。これからぐんぐん育っていくはずですよ。楽しみですね！

1年生
(アサガオ)2年生
(ミニトマト)3年生
(ホウセンカ)4年生
(ヘチマ・ヒョウタン)

実 種子

実験

ヒマワリの種子だけ植えて芽が出るの？

5年生の授業の中で、「ヒマワリのたね」とみんなが言っているのは「ヒマワリの実」で、中に入っているのが「ヒマワリの種子」なのだよという話をしたところ、『先生、この種子だけ植えたら芽が出るのですか？』という質問がありました。そんな風にしてヒマワリを植えたことがないので、先生も分からないと答えたら『じゃあ、実験して確かめましょう！』という人がたくさんいました。それほど難しいことではないので、やってみることにしました。

【実験結果】ヒマワリの種子だけ植えても、芽は出てくる！

バケツで稲作にチャレンジ！！①浸種(しんしゅ)

このところお米についてのニュースをたくさん目にします。6年生の環境の学習では『コウノトリを育むお米』について知りました。ミジンコも観察しました。田んぼにはミジンコがたくさんいて、色々な生物が集まる場所になっていることを知りました。その流れで自然と「自分でもお米を作りたい！」となり、チャレンジすることにしました！田んぼを作るのは大変なので、バケツで。理科新聞で経過を報告していこうと思います！

まずは種粃（たねもみ）を、水に浸ける浸種。種子の中の胚（はい）が活動を始めるように十分に水を吸わせます。どのぐらい水につけるかは、お米の品種にもよるそうですが、一般的には『100日度』と言われ、積算温度『水の温度×日数』が100になるまでが目安だそうです。つまり15℃の水では、だいたい1週間（15℃×7=105℃）のように考えます。

ペットボトルに種もみと水を入れ、あとは日の当たらない涼しい場所に置いておきます。水は毎日交換します。5日ほどすると…、ちょろんと根が出てきました！

さあ次は、播種(はしゅ)、種をまいていきます。次回に期待してください！



たくさんの『？』
募集中！

今回紹介した「ヒマワリの種子の実験」は5年生の？(ぎもん)からスタートしました。

理科では『？』と思ったところからスタートなので、不思議や疑問をたくさん見つけてほしいのですが、今回のように実験できることもあるかもしれないので、見つけた『？』はぜひ教えてください！

※チームスでも配信中